慣用句(初級)プリント16

月　　日　　名前 _____

問1　（　）に汗をにぎる大接戦だった。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 手　2. 足　3. 頭　4. 背

問2　「腕を磨く」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 腕を磨いて、服の汚れを落とした。　2. お風呂に入って、石けんで腕を磨いた。　3. ピアノの腕を磨くために、毎日練習を重ねる。　4. 転んで汚れたので、雑巾で腕を磨いた。

問3　「胸を張る」の意味はどれですか？

1. とても緊張して息苦しくなる　2. 自信満々で堂々とした態度をとる　3. 胸の筋肉を鍛えて大きくする　4. 心の中に不安を抱え込む

問4　いそがしくて（　）の手も借りたいほどだ。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 犬　2. 猿　3. 馬　4. 猫

問5　台風がそれたと聞いて、みんな（　）をなでおろした。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 腹　2. 頭　3. 胸　4. 腰

問6　「気を許す」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 長い付き合いで、ようやく彼に気を許した。　2. 相手に気を許して、大きな声で笑い出した。　3. 気を許したので、相手にプレゼントをあげた。　4. 気を許して、窓の鍵を開けたまま寝た。

問7　双子の兄弟は、顔が（　）二つだ。（　）に入る言葉はどれですか？

1. ぶどう　2. みかん　3. りんご　4. うり

問8　「足並みをそろえる」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 足並みをそろえてノートにきれいな字を書いた。　2. 足並みをそろえて靴を玄関に並べた。　3. みんなで協力して足並みをそろえて取り組む。　4. 足並みをそろえて静かに本を読んだ。

問9　「火に油を注ぐ」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. けんか中の二人に余計なことを言って火に油を注いだ。　2. キャンプのたき火を大きくしようと、火に油を注いだ。　3. 料理を作るために、フライパンの火に油を注いだ。　4. 火に油を注いで、ストーブの火力を強くした。

問10　あの人は（　）が悪いので、みんなを怒らせる。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 鼻　2. 口　3. 耳　4. 目

問11　「胸が熱くなる」の意味はどれですか？

1. 怒りで体がカーッとなる　2. 感動して、こみ上げてくるものがある　3. お風呂に入って体が温まる　4. 風邪をひいて熱が出る

問12　「腕が上がる」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 重い荷物を持って、ゆっくりと腕が上がった。　2. 背伸びをして、高い棚へ腕が上がった。　3. たくさん練習したので、絵を描く腕が上がった。　4. 腕が上がらないほど、重いカバンを持った。

問13　「足がすくむ」の意味はどれですか？

1. たくさん歩いて、足がつかれる　2. 足音を立てずに、こっそり歩く　3. いそいで、その場からにげ出す　4. こわさやきんちょうで、足が動かなくなる

問14　「足を運ぶ」の意味はどれですか？

1. ある目的のために、わざわざその場所へ行く　2. 重い荷物を持って歩いて移動する　3. 遠くの場所へ旅行に出かける　4. 足を使って速く走る練習をする

問15　「二の句が継げない」の意味はどれですか？

1. 二人の会話が続いてしまい、黙り込んでしまうこと　2. 歌の二番目の歌詞を忘れて歌えなくなること　3. あきれたり驚いたりして、次の言葉が出てこないこと　4. 二回続けて同じことを言ってしまい、言葉に詰まること

問16　「鼻を折る」の意味はどれですか？

1. 相手の自信や誇りをくじいて、恥をかかせる　2. 自分の失敗を棚に上げて、知らん顔をする　3. 相手の意見に反対して、議論を打ち切る　4. 自分の自慢話をして、相手をあきれさせる

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「慣用句」のプリント一覧がひらきます

慣用句(初級)プリント16　答え合わせ・解説

問1　答え 1　手
「手に汗をにぎる」の「手」の部分が入ります。 意味は「見たり聞いたりして、はらはらどきどきする」です。

問2　答え 3　ピアノの腕を磨くために、毎日練習を重ねる。
「腕を磨く」の正しい使い方は「ピアノの腕を磨くために、毎日練習を重ねる。」です。 意味は「技術や能力をさらに高めるように努力する」です。

問3　答え 2　自信満々で堂々とした態度をとる
「胸を張る」は「自信満々で堂々とした態度をとる」という意味です。

問4　答え 4　猫
「猫の手も借りたい」の「猫」の部分が入ります。 意味は「非常に忙しくて、誰でもいいから手伝ってほしい状態である」です。

問5　答え 3　胸
「胸をなでおろす」の「胸」の部分が入ります。 意味は「心配がなくなって、ほっと安心する」です。

問6　答え 1　長い付き合いで、ようやく彼に気を許した。
「気を許す」の正しい使い方は「長い付き合いで、ようやく彼に気を許した。」です。 意味は「相手を信頼して、警戒する気持ちをなくす」です。

問7　答え 4　うり
「うり二つ」の「うり」の部分が入ります。 意味は「二つのものが、見分けがつかないほどよく似ている」です。

問8　答え 3　みんなで協力して足並みをそろえて取り組む。
「足並みをそろえる」の正しい使い方は「みんなで協力して足並みをそろえて取り組む。」です。物事を進めるときに、みんなで行動や態度（歩調）を合わせるという意味で使います。

問9　答え 1　けんか中の二人に余計なことを言って火に油を注いだ。
「火に油を注ぐ」は「勢いの激しいものに、さらに勢いを加えるようなことをする」という意味の慣用句（たとえ表現）です。実際に火に油を入れることではなく、けんかや怒りをさらに激しくさせるような場面で使います。

問10　答え 2　口
「口が悪い」の「口」の部分が入ります。 意味は「言葉づかいが荒く、人を傷つけるようなことを言う」です。

問11　答え 2　感動して、こみ上げてくるものがある
「胸が熱くなる」は「感動して、こみ上げてくるものがある」という意味です。

問12　答え 3　たくさん練習したので、絵を描く腕が上がった。
「腕が上がる」の正しい使い方は「たくさん練習したので、絵を描く腕が上がった。」です。 意味は「技術や能力が上達する」です。

問13　答え 4　こわさやきんちょうで、足が動かなくなる
「足がすくむ」は「こわさやきんちょうで、足が動かなくなる」という意味です。

問14　答え 1　ある目的のために、わざわざその場所へ行く
「足を運ぶ」は「ある目的のために、わざわざその場所へ行く」という意味です。

問15　答え 3　あきれたり驚いたりして、次の言葉が出てこないこと
「二の句が継げない」は「あきれたり驚いたりして、次の言葉が出てこないこと」という意味です。

問16　答え 1　相手の自信や誇りをくじいて、恥をかかせる
「鼻を折る」は「相手の自信や誇りをくじいて、恥をかかせる」という意味です。